



申 笹中だより

伊丹市立笹原中学校 学校通信
第17号 令和2年1月8日
編集責任者 校長 藤口 太志

あけましておめでとうございます！

～ 3年生は42日！1・2年生は52日！～

あけましておめでとうございます。令和最初のお正月をどのように過ごされましたか？ご家族での時間をゆっくりと過ごせましたでしょうか？今日から、3学期がスタートします。

3学期は、1年間の総まとめをするとともに、来年度に向けての準備の期間となります。副題にもありますように、**3年生が、卒業式までに登校する日数が42日、1・2年生が、修了式までに登校する日数が52日**、となります。2学期の授業日数が81日だったのに比べると、ほぼ半分しかありません。今まで以上に、色々なものごとに計画的に取り組んでください。

【干支は子！：2020（令和2年）は「ねずみ年」】

子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると、成長に向かって種子が膨らみ始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられ、未来への大いなる可能性を感じさせます。

また、ねずみはたくさんの子を産むことから、繁栄の象徴ともされています。ちなみに、高校野球でおなじみの「甲子園」も、球場が完成した1924年が奇しくも十干十二支の、それぞれの最初の「甲」と「子」が60年ぶりに巡り合う年だったため、その縁起の良さにあやかって名付けられたとされています。



【ボランティア・マスター & キング・オブ・マスター！】

～ 地域に貢献する笹中生「笹中地域サポーター」ボランティア活動～

【笹中だより第16号】で、12月20日（金）現在での、ボランティア・マスター、および、キング・オブ・マスターを紹介しましたが、それ以後、新たに認定された人を紹介します。

<ボランティア・マスター> (13名) (敬称略)

1-1 川崎 湖純望	1-1 曲 純希	1-3 鎌田 涼生
1-4 陶山 侑希	1-4 佐藤 友良	
2-1 浅田 栞	2-1 小西 未織	2-1 大濃 瑳優
2-1 渡邊 光輝	2-2 増山 優月	2-3 富安 透吾
2-4 永井 花	2-4 國 ゆきな	

<キング・オブ・マスター> (2名) (敬称略)

1-3 青山 智咲 1-3 井上 悠月

(※1月8日 現在分)

【3学期の目標】～ ONE TEAM ～ 「コミュニケーション & リスペクト」

<始業式校長講話より抜粋> 3学期「有終の美」を飾るために、具体的にどうすればいいのか？それは、みなさんがこれまで積み上げてきた「良い習慣」あるいは、「当たり前なこと」を当たり前として続けてほしい。捨てないでほしい。それだけなのです。

笹中には、多くの当たり前があります。「みぞあじ」運動。「もくもく清掃」「2分前着席」「残食ゼロ」「笹中地域サポーター制度」「サクセスシート」など、・・・(中略)・・・
せっかく、「できるようになってきた」「よい習慣・当たり前」も、捨ててしまった(やらなくなった)瞬間に、当たり前が当たり前でなくなります。

この当たり前というのは、はじめからあるのではなく、みんなが、努力してつくりあげているものなのです。ぜひ、この3学期、「有終の美」を飾るために、当たり前のことを当たり前のこととして、続けて欲しいと思います。

この「有終の美」を飾るために必要なのが「ONE TEAM」です。笹中が、生徒のみなさんはもちろん先生たちや保護者の方々も含めて、ONE TEAMにならなければいけません。

私が考える「ONE TEAM」のために必要なことは、2つです。1つは、コミュニケーション。もう1つが、リスペクト(尊重)です。今、笹中で取り組んでいる「仲間づくり」週間の「イイネの木」は、まさしくリスペクトですよ。

ONE TEAMとして、1つの目的や目標を達成するためには、お互いの考えや、思いを理解しなければなりません。そのためには、とにかく、コミュニケーションです。話をしたり、聞いたりしないと何もわかりませんよね。このコミュニケーションがないと何が起きるか？

それは、「不満」です。相手の気持ちや考えがわからないからです、イライラがたまっていき、やがて不満と成り、相手を攻撃したり、無視したりするようになる可能性があります。

2つ目のリスペクト。これは大人でも難しい部分かもしれませんが、**お互いの考えや思いをリスペクト(尊重)**することです。

人には、それぞれ価値観やこだわりがあります。どれが正解とか、どれがよくて、どれが悪いとかではなく、**お互いの良い部分を認めて、ONE TEAMとしての方向性を決めていく。**

ただし、その時、好き嫌いの感情は**お互い少しずつ我慢**しないといけないかもしれません。でも、それが、大人になる勉強でもあり、**人間力の幅の広がり**でもあります。

ラグビーの日本代表の中でも、普段所属しているチームでのポジションとは違うポジションで戦っていた選手が何人もいるそうです。これも**人間力の幅(神対応)**ですよ。

では、3学期も、「ONE TEAM」で、「有終の美」のために、当たり前のこととして、

「授業で勝負」「行事で勝負」「部活で勝負」「進路で勝負」

【部活動・コンクールの誉れ】

<団体の部>

(※ウラ面に2学期分掲載)



0 吹奏楽部 兵庫県アンサンブルコンテスト 東阪神地区大会

R. 1. 1 2. 2 8

金賞 金管8重奏 チーム

金賞 管楽8重奏 チーム



★上記2チームともに、東阪神地区代表として、1月18日(土)高砂市文化会館で開催されます「第47回兵庫県アンサンブルコンテスト」に出場します。応援よろしくお祈りします。